

## 7.5 七夕気分を満喫

7月5日、海とくらしの史料館で「たなばたまつり」が開かれました。これは、来館者とともに七夕を楽しむもうと昨年に続いて企画されたもの。

七夕飾りで彩られた会場では、市内の合唱グループ「すみれ会」と台場保育所の年長組み12人の園児たちが七夕にちなんだ歌やお話を披露。

後半のゲームでは、ボランティアで参加している中学生のお姉さんからご褒美のアメをもらって園児は大喜び。終始、館内は和やかな雰囲気になりました。



## 7.6 誠道っ子 裸足で飛び回れ!

7月6日、誠道小学校の校庭の一部を芝生化しようと、PTAや児童、地域住民約250人が集まって苗植えに汗を流しました。

芝生化の効用には、外遊びの促進、校庭の温度上昇の緩和、景観の向上などがあり、学校・家庭・地域の連携強化の拠点となることも期待されています。

この日45cm間隔で植えられた芝生は、約3カ月で全面に広がるということで、秋の運動会シーズンが今から楽しみな、「地域で協働する」1日となりました。

## 7.20 暑い日に、熱い思いで・・・。

7月20日、福定町で古くから伝わる「エッチャモツチャ<sup>さかきみこし</sup>」の榊神輿が町内を練り歩きました。これは昔、町内に疫病が蔓延し、多くの死者が出た際、悪疫追放・病魔退散を願って始まったもの。

榊神輿を空高く掲げ、「そーれエッチャ、そーれモツチャ」の掛け声とともに神輿を地面に叩きつける独特な形態に、最近では子供神輿や踊りも加わり一層にぎやかに。猛暑の中、観衆も担ぎ手も大粒の汗を流しながら、地域の振興を願いました。



## 7.25 力を合わせて みんなで料理

7月25日から7つの公民館で「子どもクッキング」が開催され、小学生が料理にチャレンジしました。

旬の食材と、地元の食材を生かした料理をテーマに、食生活改善推進員の指導のもと、なれない手つきで、包丁をにぎったり、フライパンでいためたりと、真剣なまなざしで料理にのぞみました。

おいしくできた料理を、ちゃんと家族にも作ってあげられるかな？